

第5回 生物・化学汚染による健康障害の建築的対応 特別研究委員会  
議事録

記録：長谷川

- A. 日 時：2007年3月9日 17:00～19:00  
B. 場 所：日本建築学会会議室  
C. 出席者：<委員長>吉野 博 <幹 事>加藤信介, 田辺新一  
<委 員>赤林伸一, 池田耕一, 石川 哲, 大澤元毅, 桑沢保夫, 篠原直秀,  
長谷川兼一, 坊垣和明, 熊谷一清, 柳沢幸雄, 坂口 淳  
<オブザーバー>弘瀬 将光, 渡辺利沙, 吉田真理子, 中村安季, 高松真理,  
松田麻香 (順不同, 敬称略)  
D. 資 料：No.5-0 議事次第  
No.5-1 委員会名簿  
No.5-2 第4回 議事録  
No.5-3 検討課題のキーワード  
No.5-4 委員会の活動計画  
No.5-5 IAQVEC Special Sessions and organizers (Tentative)  
No.5-6 IAQVEC アブストラクト提出状況  
No.5-7 居住環境内での曝露経路による乳幼児・小児アレルギー・喘息に  
関する疫学調査 研究計画書(案)  
No.5-8 国内における微生物に関する文献調査  
No.5-9 岸玲子先生・話題提供資料

E. 議 事

1. 前回議事録の確認が行われた。(資料 No.5-2)
2. WG の進捗状況が報告された  
(ア) 加藤 WG：WG の成果を空気清浄シンポジウムにて発表するので、次回紹介することが可能。  
(イ) 吉野 WG：本委員会の前に WG が開催された。資料 No.5-7 に基づき、計画している疫学的調査の概要が説明された。
  - ✓ 調査協力者の確保の方法について、患者の団体への協力依頼(この場合、コントロールをどうするか?)、シックハウスに関心がある工務店を建築士会経由で募る、3歳児検診のタイミングで保健所に協力を求める、各自自治体に打診する、等の意見が出された。
3. ホームページは随時更新されていることが報告された。
4. 来年度の委員会の活動計画(資料 No.5-4)について審議され、今後も話題提供と情報収集を中心に進めることが確認された。また、最終成果物として、①報告書の作成、②シンポジウムの開催が挙げられた。①は本委員会での話題提供、情報収集、②は IAQVEC での Special Session が含まれることになるが、次回以降も検討することとなった。
  - (ア) 話題提供
    - ✓ 次回の話題提供は、(8)坂部先生にお願いすることとし、吉野委員長より連絡していただく。
  - (イ) シンポジウム・ワークショップの計画案(資料 No.5-5)
    - ✓ IAQVEC で企画するワークショップについて審議された。資料中3)(Moisture, mold growth and health effect)について、湿気と健康影響との関連を明確に見出すことは難しいので、化学物質との関係を含めることや建物の結露問題と関連付けてテーマを設定する必要がある等、指摘された。
  - (ウ) 研究費の申請
    - ✓ 吉野委員長が住宅総合研究財団に申請
5. 「シックハウス症候群に関する疫学調査でわかったこと」と題して話題提供(資料 No.5-9)が、岸先生より行われた。

6. 次回:話題提供をいただく坂部先生の都合を伺い,可能ならば5月9日(水)か23日(水)のいずれかに設定することとなった。
- 5月9日(水) 17:00~19:00 於:建築会館会議室  
話題提供:「(仮題)遺伝的要因とシックハウス症候群」(坂部先生:北里大学教授)